



徳島県の「電気職・機械職」について教えて！

### 徳島県の「電気職・機械職」 ならではの魅力は何ですか？

徳島県が運営する公営企業では、ダムや水力・太陽光発電所、工業用水道など、ライフラインに関わる施設設備を維持管理しています。電気職・機械職は、これら施設設備の定期的な巡視・点検、設備の修繕や改良工事の設計・施工監督といったエンジニアとしての現場業務のみならず、収支計画や所管施設設備の整備計画の作成といった経営に関する業務まで、幅広い業務に携わることができます。

### 人事異動について教えてください。

エンジニアとしての現場業務が基本になりますが、公営企業の経営に携わる部署への配属もあり、様々な経験を積むことができます。異動は概ね3年サイクルです。また、山間部にあるダムに配属された場合でも、職員宿舎が完備されており、安心して働ける環境が整っています。  
なお、人事異動については、必ずしも希望どおりになるとは限りませんが、異動先の希望を伝える機会が設けられています。

### 給与について教えてください。

初任給は、月額202,400円(大学卒)です。

### 研修体制や資格取得支援、研究発表等の取組はありますか？

施設設備の維持管理には、様々なスキルが必要となりますが、電気主任技術者や危険物取扱者、ダム水路主任技術者をはじめ、業務に必要な資格取得の支援や研修の受講体制が充実していることはもちろん、業務中の事故を防ぐために必要な安全講習等を受講する機会も設けており、積極的に人材育成を行っています。

### もっと「電気職・機械職」について知りたい！

徳島県職員採用ホームページでも、職務の内容や先輩職員の声を紹介しています！



# TOKUSHIMA

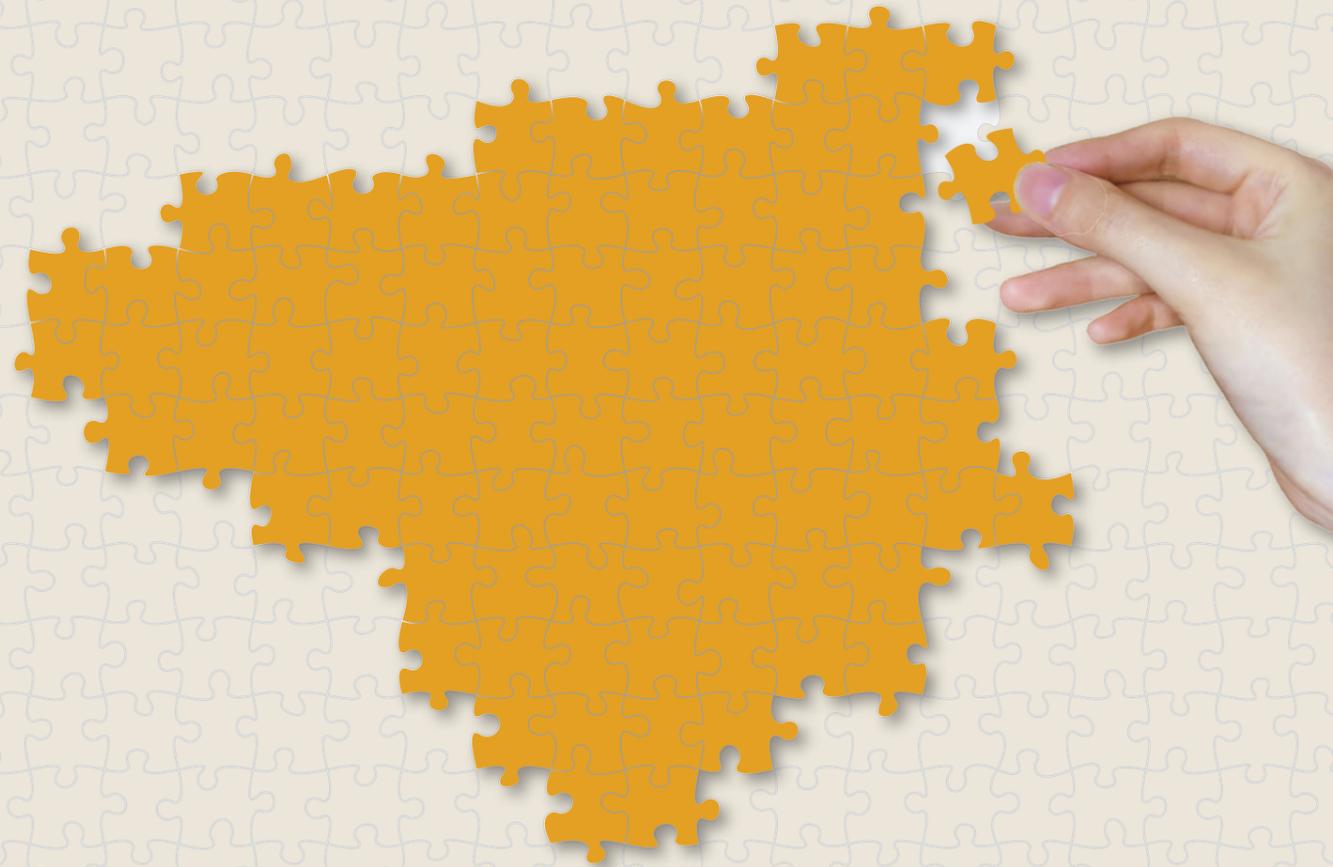
## 職員採用案内



電気職



機械職



電気職・機械職の  
業務に関する問合せ

徳島県企業局経営企画戦略課  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁8階  
TEL.088-621-3243 FAX.088-621-2877  
✉ keieikakakusenryakuka@pref.tokushima.jp

採用に関する  
情報・問合せ

徳島県職員  
採用ホームページ  
<https://www.pref.tokushima.lg.jp/saiyou/>



徳島県経営戦略部人事課  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地 徳島県庁3階  
TEL.088-621-2358 FAX.088-621-2825  
✉ jinjika@pref.tokushima.jp

※掲載内容は、令和6年1月現在のものです。

## 企業局総合管理推進センター

### 県民生活に深く関わる重要な業務

徳島県企業局は、地方公営企業として、電気事業、工業用水道事業、駐車場事業、土地造成事業の4つの事業を実施しています。

私が所属している川口ダム管理担当では、電力の安定供給のため、各水力発電所や各ダムの巡視、点検で電気機械設備の保守管理に関する業務を行っており、時には故障対応のため、職員自ら作業を行うこともあります。

企業局で担当している業務は、県民の生活に深く関わることであり、県民生活の向上に向け、日頃の巡視などで異常がないか入念に行うよう心がけています。

▼ 巡視点検作業



棚橋 司 / Tanahashi Tsukasa

企業局総合管理推進センター 主任  
令和5年度入庁

〔所属歴〕  
●令和5年度：企業局総合管理推進センター



#### INTERVIEW 01

### 徳島県の社会インフラを支える業務に携われていることに、誇りとやりがいを感じる

私は主に、那賀川流域にある発電所とダムの保守管理を行っています。普段は発電所等の巡視や点検作業、故障対応などの現場作業を行うほか、保守業務の設計や現場監督員など事務作業を行うこともあります。また、ダムが隣接する水力発電所ならではの業務として、梅雨の時期や台風が発生した際には、ダムのゲート操作や流水管理を行うだけでなく、下流住民の安全のため警報車に乗って下流警報といった放流を周知する業務も行っています。

徳島県の社会インフラを支える業務に携われていることに、誇りとやりがいを感じ、業務に取り組むことができています。

#### 主な配属庁舎



#### INTERVIEW 03

### 工業用水道事業が担う役割を意識し、日々努力

私は、工業用水に関わる業務を担当しています。現場作業が主な業務である設備の維持管理とは違い、関係する組織との協議や事業経営に関する事務処理が主な業務となります。

事務処理と一口に言っても予算や工業用水料金に関する業務、経営計画に関する業務等、内容は多岐にわたります。これらの業務を迅速に行うためにも事業に関する理解が必要であり、日々の努力が

欠かせません。

また、企業局が管理する工業用水道設備は、発電所や工場など多数の企業に工業用水を供給しており、徳島県の産業活動には必要不可欠なものとなっています。今後も工業用水道事業が担う役割の重要性を常に意識し、業務に励みたいと考えています。

## 企業局経営企画戦略課

### 健全で安定的な経営を行うため様々な組織と連携

企業局経営企画戦略課では、企業局の予算経理に係る業務や土地や機械設備といった資産の管理に係る業務を行っており、私が配属されている経営戦略・地域貢献担当は工業用水道事業、駐車場事業、土地造成事業の経営に関する業務などを担当しています。

私はその中で工業用水道事業を担当しています。工業用水道事業の健全かつ安定的な経営をする上で、工業用水の受水者や河川を管理する国土交通省など様々な組織と連携する必要があります。業務を進める上で事務処理能力だけでなく、社交性が求められる環境となっています。



大西 俊輔 / Onishi Syunsuke

企業局経営企画戦略課 主任主任  
平成27年度入庁

〔主な所属歴〕  
●平成27年度：企業局総合管理事務所  
●令和元年度：企業局総合管理推進センター  
●令和3年度：那賀町派遣  
●令和5年度：企業局経営企画戦略課



#### INTERVIEW 02

### トラブルを解消できたとき、安定供給の一助となれていると実感できる

私は、勝浦発電所を主とした勝浦川水系の発電所・ゲート設備や、マリンピア沖洲・和田島の両太陽光発電所の保守管理を主な業務として行っています。巡視・点検や突発的な故障対応、大雨の際のダムのゲート操作等の現場作業のほか、設備更新工事のための設計書作成や工事監督等、事務的な業務も行っています。

現場には大小ありますが、様々な機械設備があります。それに伴い多種多様なトラブルが発生します。その対応や手入れをしていると油まみれになることもありますが、不具合を解消することができた際にはその場で達成感ややりがいを感じるとともに、安定供給の一助となれていると実感します。

電気 約60名

機械 約20名

#### INTERVIEW 04

### これからの時代に求められるやりがいのある仕事

私は自然エネルギー事業化担当室長として、全国の公営水力発電所の中で最大規模を誇る「日野谷発電所」のリニューアルに向けた業務をはじめ、企業局における自然エネルギーの開発検討や、県内市町村への小水力発電の導入に係る技術的な支援、太陽光発電所の電気主任技術者業務などを行っています。

また、近年では、自然エネルギーに関する新しい技術が開発されていることから、先導的かつ効果的な活用を目指し、教育機関と連携した取組も進めています。

自然エネルギーの開発や導入推進など、これからの時代に求められる電気・機械職として大変やりがいのある仕事であると考えています。



山添 浩二 / Yamazoe Koji

企業局事業推進課 自然エネルギー事業化担当室長  
平成9年度入庁

〔主な所属歴〕  
●平成9年度：企業局電力課  
●平成12年度：企業局総合管理事務所  
●平成29年度：企業局事業推進課  
●平成30年度：企業局経営企画戦略課  
●令和3年度：水・環境課  
●令和5年度：企業局事業推進課



### 「安定的に供給する」という重要な使命を担っている

企業局総合管理推進センターでは、水力発電・太陽光発電・工業用水の安定供給・駐車場事業の安定運営のために電気・機械設備の保守管理や、老朽化に伴う設備の更新・修繕工事の設計・監督を行っています。徳島県産のクリーンエネルギーを生み出したり、多数の企業へ低廉な工業用水を供給するなど、「安定的に供給する」という重要な使命を担っています。

現場には様々な設備があり、数十年以上稼働しているものから最先端のものまであります。それらを途切れること無く運転させるためには、現場での技術力・対応力はもちろん、先を見越した更新計画、点検・保守の実施など、広い視野を持った対応が必要であり、責任感が感じられる職場です。



▲ 現場作業

## 企業局総合管理推進センター



▲ 日野谷発電所

### 持続可能な徳島県の将来を目指した取組を推進

事業推進課では、企業局の大きな柱である電気事業の経営をはじめ、工業用水道を含めた電気機械設備の改修や維持管理の統括、さらには自然エネルギーの導入推進まで幅広い業務を行っています。水力や太陽光発電により発電した電気を売電(卸供給)することによって事業経営を行っており、水力発電等の開発・運営を通じた県民福祉の向上を目指すとともに、地球温暖化対策や地域振興等への貢献にも取り組んでいます。

脱炭素社会の実現に向けて、自然エネルギーの重要性はますます高まっており、社会情勢に即した着実な経営はもとより、老朽化した水力発電所の大規模改修に合わせた出力増強など、持続可能な徳島県の将来を目指した取組を進めています。

## 企業局事業推進課